

08資工 第0120030-008号

佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 面 名
E-01	特記仕様書 その 1
E-02	特記仕様書 その 2
E-03	配置図・付近見取図
E-04	新館地下1階 平面図
E-05	新館地下2階 平面図
E-06	新館及び議会棟地下1階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)
E-07	新館地下2階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)
E-08	配置図(既存)
E-09	新館地下1階 平面図(既存)
E-10	新館地下2階 平面図(既存)
E-11	新館及び議会棟地下1階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)(既存)
E-12	新館地下2階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)(既存)

佐賀県庁舎引込高压ケーブル他更新工事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

佐賀市

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一区分	備考
新館	S R C				
議会議棟					

3. 工事種目及び工事科目

（○印の付いたものが対象工事）

工事科目	施工範囲別	新館	議会議棟	工事種目		屋外
・ 電灯設備						
・ 動力設備						
・ 電熱設備						
・ 雷保護設備						
・ 受変電設備						
・ 電力貯蔵設備						
・ 発電設備						
・ 構内情報通信網設備						
・ 構内交換設備						
・ 情報表示設備						
・ 映像・音響設備						
・ 拡声設備						
・ 誘導支援設備						
・ テレビ共同受信設備						
・ 監視カメラ設備						
・ 駐車場管制設備						
・ 防犯・入退室管理設備						
・ 自動火災報知設備						
・ 中央監視制御装置						
○ 構内配電線路	改設一式	改設一式				改設一式
・ 構内通信線路						
○ 撤去工事	一式	一式				一式
・ 仮設工事						

4. 指定部分

・ 無 ・ 有（工期：令和 年 月 日）
（一部完成）（対象部分： ）

5. 設備概要

設備方式は、・に○印の付いたものを該当項目とする。

電灯設備	1 照明器具	・ 一般照明 ・ 非常照明（・ 電源内蔵 ・ 電源別置）
	2 EPS	・ 有 ・ 無
動力設備	1 設備概要	・ 空気調和 ・ 暖房 ・ 冷房 ・ 換気 ・ 給排水 ・ 消化 ・ 排煙
雷保護設備	1 受雷部	・ 突針 ・ 棟上げ導体
受変電設備	1 設備方式	・ キュービクル式配電盤 ・ 開放形配電盤
	2 型式	・ 屋内型 ・ 屋外型
発電設備	1 発電機	・ （ ）相（ ）線式（ ）V ・ 定格出力（ ）kW ・ 運転時間（ ）時間 ・ ディーゼル ・ ガスタービン
	原動機	・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油
	燃料	
	2 太陽光発電装置	・ 太陽電池アレイ公称出力（ ）kW ・ 系統連系（有／無）
	3 その他発電装置	・ （ ）発電装置 定格出力（ ）kVA
通信・情報設備	1 構内情報通信網装置	・ ネットワーク管理装置 ・ ファイアウォール ・ リピータ ・ ルータ
	2 構内交換装置	・ 電話交換機
	3 情報表示装置	・ マルチサイン装置 ・ 情報表示装置 ・ チャイム ・ 時刻表示装置 ・ 出退表示装置
	4 映像・音響装置	・ 映像装置 ・ 音響装置
	5 拡声装置	・ 一般放送用 ・ 非常放送用
	6 誘導支援装置	・ 音声誘導装置 ・ インターホン ・ 呼出装置
	7 テレビ共同受信装置	・ UHS ・ BS ・ CS ・ 有線（CATV）
	8 テレビ電波障害防除装置	・ 有 ・ 無
	9 監視カメラ装置	・ カメラ ・ ビデオモニタ ・ タイムラプスVTR ・ デジタルレコーダ
	10 駐車場管制装置	・ 管制装置 ・ 検知器 ・ 信号灯 ・ 警報灯 ・ 発券機
	11 防犯・入退室管理装置・制御装置	・ 制御装置
	12 自動火災報知装置	・ P型受信機 ・ R型受信機
	13 自動閉鎖装置	・ 防火戸用 ・ 防火シャッター用 ・ 防煙ダンパー用
	14 非常警報装置	・ 埋込形 ・ 露出形
	15 ガス漏れ火災警報装置	・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用
中央監視制御設備	1 方式	・ 警報盤 ・ 簡易型監視制御 ・ 監視制御
構内配電線路	1 ふ設方式	・ 架空線式 ○ 地中埋込式
構内通信線路	1 ふ設方式	・ 架空線式 ・ 地中埋込式

II 工事仕様書

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準図」という。）による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は（ ）図、建築工事の工事仕様書は（ ）図による。

(3) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合、排出ガス対策型建設 機械を使用するものとする。なお、排出 ガス対策型建設機械に代えて、認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、同等の建設機械とみなすものとする。

※ 排出ガス対策型建設機械とは、指定要項に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をいう。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項のうち複数の項目から選択する事項は、・に○印の付いたものを適用する。

② 環境への配慮

③ 電気工作物の種類

○ 事業用電気工作物 ・ 一般電気工作物

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
○ 要 ・ 不要

⑤ 電気工事事

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事事により施工を行う。

⑥ 工事用電力

・ 水その他

本工事に必要な工事用電力、水、及び官公署その他への諸手続などの費用は、すべて請負業者の負担とする。

⑦ 工事用仮設備

構内につくことが ○ できる ・ できない

⑧ 監督員事務所

・ 設ける（ 号） ○ 設けない

9 仮設備

仮設備項目（・ 受変電 ・ 発電 ・ ）
仮設備期間（・ 図示 ・ ）

⑩ 施工調査

改修標準仕様書によるほか、下記による。
事前調査（○本工事 ・ 別途工事）
調査項目（○既存資料調査 ・ ）
調査範囲及び方法（・ 図示 ○既存図面調査及び目視調査 ）

11 足場その他

⑫ 形状・寸法等

13 配線本数、管路等

14 金属製電線管の塗装

15 屋外の支持金物

16 耐震措置

⑭ 設計用標準水平震度 (Ks)

設置場所	機器種別	耐震安全性の分類			
		・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】

水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器は次のものを示す。
・ 受変電機器 ・ 配、分電盤 ・ 発電設備 ・ 直流電源装置
・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機
・ 中央監視装置 ・ 通信総合盤 ・ 照明制御盤

(2) 上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

(3) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(4) 重量1kN以下の軽量な機器の耐震支持については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）に準拠あるいは同等な設計用地震力に耐える方法で設計・施工すること。

17 地盤変位への対応

18 はつり

19 撤去後の補修

20 電路の保護

21 照明器具の接地

22 絶縁抵抗測定

23 インバータ装置の
規約効率

⑭ 設計用標準水平震度 (Ks)

電動機出力 (kW)	耐震安全性の分類						
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5

電動機出力 (kW)

11 15 18.5 22 30 37 45

規約効率 (%)

94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5

・ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。
・ 内部仮設足場等（・ 種 ・ 種）
・ 外部仮設足場等（・ 種 ・ 種）

姿図の形状寸法等は、図面表示と多少相違してもよい。
ただし、監督員の承諾を受けるものとする。

分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径等は、図面と相違しても差しつかえない。
ただし、監督員の承諾を受けるものとする。

露出配管は塗装を行う。 ・ 屋外 ・ 屋外（ ）

屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛めっき仕上げ又はSUS製とする。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記な場合、設計用標準水平震度は、次による。

24 接地極

⑮ 呼び線

26 盤類の塗装

27 特定建設資材の処理

⑯ 発生材の処理等

29 建設発生土の処理

【備考】

(1) 規約効率は、JEM-TR 245 「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。

(2) 規約効率は、JIS C 4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

(3) 0.75kW以上の効率は、JIS C 4213 「低圧三相かご形誘導電動機—トッランナーモーター」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする

接地極の材料は下表による。なお、設置棒EB（14φ）の長さは1500mm以上とする。

接地の種類	記号	接地極
共同接地		EP-0.9(900×900×1.5t)
		1枚以上
A種接地		2本以上
		6本以上
		2本以上
		6本以上
		1本以上
B種接地	EB（14φ、L=1500）	6本以上
C種接地		2本以上
D種接地		1枚以上
高圧避雷器		2枚以上
雷保護用		1枚以上
構内交換機用	EP-0.9(900×900×1.5t)	2本以上
電話引込口の保安器用		1本以上
通信用		6本以上
通信用		1本以上
測定用		1本以上

長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入し、行先表示を行う。

盤類キャビネットの塗装は、指定色仕上げとする。

本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律104号）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。
ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議する。
分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面に監督職員に報告する。
(1) 再資源化等が完了した年月日
(2) 再生資源化等をした施設の名称及び住所
(3) 再生資源化等に要した費用

分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・ 建設設備	建設設備・内装材の取り外し	・ 手作業
・ 内装材等	（・ 有 ・ 無）	・ 手作業、機械作業の併用
・ その他	その他の取り壊し	・ 手作業
（ ）	（・ 有 ・ 無）	・ 手作業、機械作業の併用

特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再生資源化等をする施設の名称	所在地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

再生資源利用計画書及び実施案は、建設副産物情報交換システム（コプリス）にて作成し提出すること。

発生材一時保管、集積場所構内は（・ 有 ・ 無）

・ 引渡しを要するもの（・ 金属類 ・ 電線、ケーブル類 ・ 蓄電池 ・ 照明器具）

・ 特別管理産業廃棄物（・ PCB使用機器 ・ ）

・ PCB使用機器の有無については、調査を行い結果を監督員に報告する。
・ PCB使用機器の取り扱いについては、監督員の指示を受ける。
・ 発生資源利用物（・ ランプ類 ・ 電線、ケーブル類 ・ ）

○ 引渡しを要するもの及び再生資源化を図るもの以外は、構外適切搬出処理とする。

・ 構内敷きならし ・ 構内指定場所へのたい積
・ 構外搬出 ・ 再利用を図る

分類	受け入れ場所	搬出距離
建設発生土		

上記に示す受け入れ場所・搬出距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する。

共通事項

工事名

佐賀県庁舎引込高压ケーブル他更新工事

図面名

特記仕様書 その 1

縮尺

A1:S=1/ -
A3:S=1/ -

設計

佐賀県総務部資産活用課

一級建築士登録 第 号

図書番号

E

01

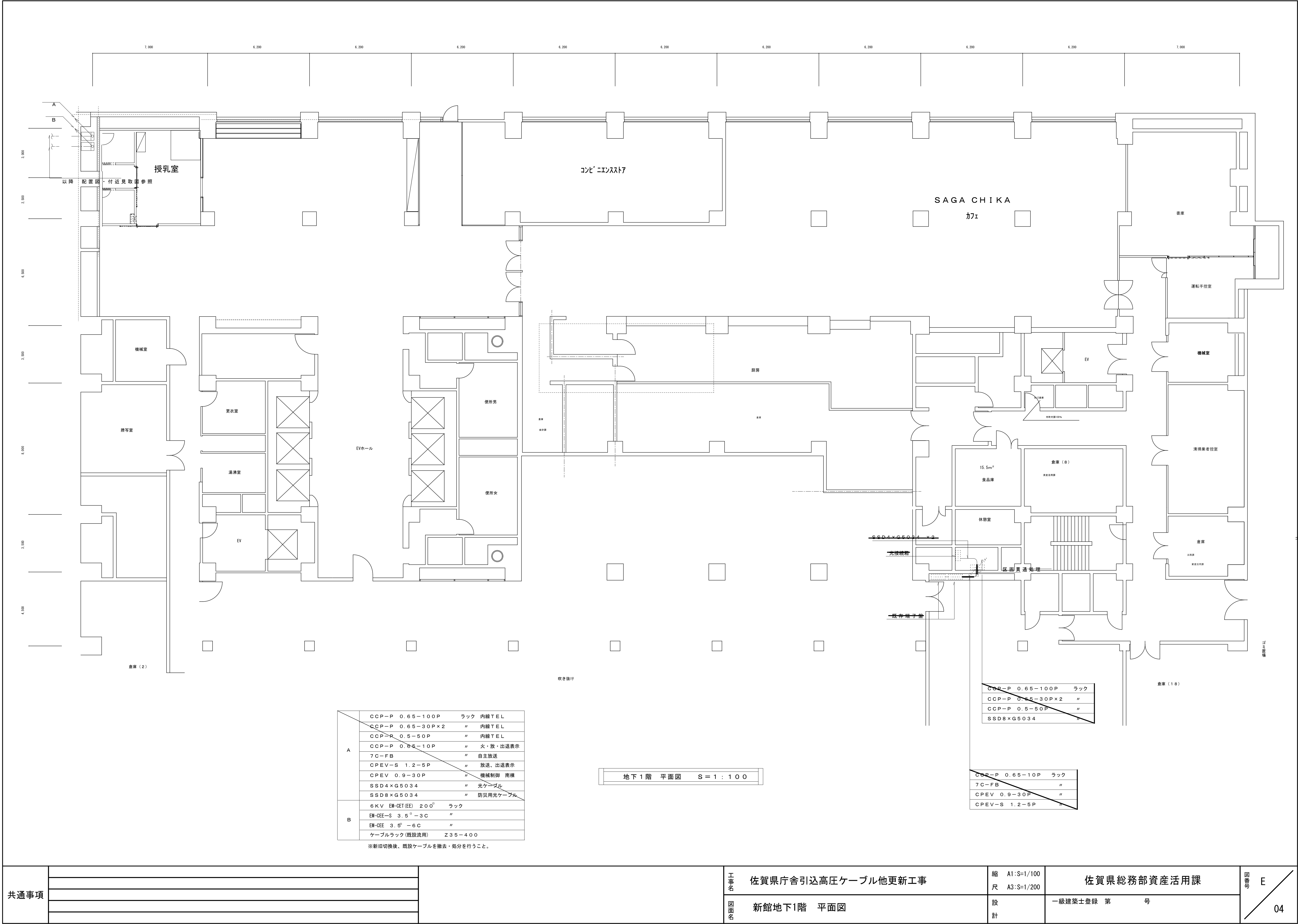
30 地中埋設機		地中埋設機を設ける。材質個数は図示による。 (・電力用 ・通信用)
31 標識シート		低圧地中幹線路及び通信地中幹線路にも設ける。
32 外灯ポール		外灯ポールは、垂鉛付重量350g/m (JIS H8641「溶融垂鉛めっき」に規定するH D Z 35以上の溶融垂鉛めっきを施したものとす。 (エツチングプライマー、指定色仕上)
⑬ 線名札		幹線に取付る線名札には、施工年月及び施工業者名を記入する。
⑭ ハンドホール内のケーブル余長		建物直近のハンドホールでは、内部でケーブル1巻分の余長をとること。
35 機器取付高さ		図面に特記なき場合は、別表-2Iによる。
36 他工事または他工種との工事区分		図面に特記なき場合は、別表-3による。

○別表-1		
品目	機材等	適用
照明器具	LED照明器具(一般屋内用に限る)	
盤類	分電盤 (実験盤を含む)	
	制御盤	
	可変速運転用インバータ装置	
	照明制御装置	
高圧機器	キュービクル式配電盤	(一社) 公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」
	高圧交流遮断器	
	高低圧変圧器	
	高圧進相コンデンサ	
	高圧限流ヒューズ	
	高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置	高圧スイッチギア (CIV. PIV)	
太陽光発電装置	パワーコンディショナー及び系統連携系保護装置	
監視カメラ装置		
中央監視制御装置	監視制御装置	

○別表-2							
名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)		
取付用計器	地上 ～ 窓中心	1,500	表示器	床上 ～ 中心	天井高×0.9		
引込開閉器	床上 ～ 中心	1,500	据付発信器	〃	1,300		
分電盤、OA盤	〃	1,500	ベル・ブザー	〃	1,500～2,300		
制御盤、実験盤		(上端1,900以下)	チャイム				
開閉器箱	床上 ～ 中心	1,500	壁付押ボタン	〃	1,300		
電磁開閉器用押ボタン	〃	1,300	インターホン	〃	1,300		
接地極埋設標	地上 ～ 中心	600	外部受付用	〃	標準図による		
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000	壁付位置ボックス (一般)	〃	300～400		
スイッチ	床上 ～ 中心	1,300	インタホン	観機	〃	1,300～1,500	
多機能トイレ	〃	1,100	子機	〃	1,100～1,500		
スイッチ		300	呼出ボタン	〃	900		
コンセント	一般	〃	多目的トイレ	復帰ボタン	〃	1,800	
	換気扇	〃	表示灯	〃	2,000		
	便所	〃	観ト子	〃	1,100～1,500		
	エアコン	天井下 ～ 上端	200～300	直列ユニット (一般)	〃	300	
	台上	台上 ～ 中心	150	テレビ共用設備	直列ユニット (和室)	〃	150
ブラケット	車庫	床上 ～ 中心	800	機器収容箱	〃	1,800	
	車椅子	天井下 ～ 上端	900	テレビ端子	〃	150～400	
	出入口	床上 ～ 中心	1,500～2,000	直列ユニット (台上)	台上 ～ 中心	150	
	浴室	〃	1,500～2,000	機器収容箱	床上 ～ 中心	800～1,500	
動力	踊り場	〃	2,500	発信機	〃	800～1,500	
	一般	〃	2,100	火報受信機 (複合盤)	床上 ～ 操作部	800～1,500	
	鏡上端	鏡上端 ～ 中心	150	副受信機	床上 ～ 中心	1,500	
	避難口誘導灯	床上 ～ 下端	1,500以上	警報ベル	床上 ～ 上端	天井高×0.9	
	廊下通路誘導灯	床上 ～ 上端	1,000以下	表示灯	床上 ～ 中心	天井高×0.8	
	手元開閉器	床上 ～ 中心	1,500	連動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500	
	操作スイッチ	床上 ～ 中心	1,300	ガス漏れ検知器	LPガス	床上 ～ 上端	300
	警報盤	床上 ～ 中心	1,800	都市ガス	天井面 ～ 中心	天井面 -200	
	端子盤 (室内)	床下 ～ 上端	300	接地用	床上 ～ 中心	500	
	集合保安器箱	天井下 ～ 上端	200	雷保護接地用	床上 ～ 下端	800	
構内交換	電話用アウトレット	床上 ～ 中心	150～400	端子盤 (EPS・電気室)	床上 ～ 中心	1,500	
	電話用アウトレット (台上)	台上 ～ 中心	150				
	壁掛形観時計	床上 ～ 中心	1,500				
	子時計	〃	天井高×0.9				
電気時計・伝声	壁掛形スピーカ	〃	天井高×0.9				
	壁付アッテネータ	〃	1,300				
	時報子時計	〃	2,300				
【備考】 天井高×0.9及び天井高×0.8は、天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。 取付高については、事前に監督員と協議する。							

他工事との工事区分表					
○別表-3					
工 事 内 容			本工事	建築工事	機械設備工事
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		
			屋外		
			屋上		
		テレビアンテナ基礎			
		避雷針の基礎			
	機械関係	特記した基礎			
		屋内設備			
		屋上設備 (架台、アンカーボルトを除く)			
		屋外設備 (〃)			
		架台・アンカーボルト			
開口部	特記した基礎				
	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通スリーブ	補強を要しないもの			
	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通部型枠	補強を要しないもの			
	軽量鉄骨下地	補強を要するもの			
	壁・天井ボード類の切込	補強を要しないもの (アウトレットボックスは除く)			
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの			
		補強を要しないもの			
		上記開口部の差出し			
	上記開口部の補強				
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)				
	OA フロアー配線器具用				
点検口	床、壁、天井				
外部取付管用	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む				
点検口	オイルサービスタンの防油堤、タンク基礎				
床下水槽のマンホールふた					
ガス漏れ検知器					
消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板					
湯沸室の排気フード					
換気扇	本体				
	取付枠				
流し台	本体 (排水トラップ共)				
	水栓				
浴 槽					
身障者用便所手すり					
電 気 配 管 配 線	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)				
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線				
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線				
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配線				
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配管				
	機器と付属操作スイッチ				
	機器と付属操作スイッチの埋込ボックス				
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る				
	配管配線				
システム天井	ボード・カバー				
	照明ライン設備プレート				
電子錠	空調ライン設備プレート				
	電気錠及び通電金具				
浄化槽	ポンプ及び制御盤				
	杭工事				
	土工事				
	基礎工事				
水道リモートメーターの配線	電気工事				
水道リモートメーターの配線の結線と調査					

共通事項			工事名 佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事	縮尺 A1:S=1/ - A3:S=1/ -	佐賀県総務部資産活用課	図書号 E
			図面名 特記仕様書 その2	設計	一級建築士登録 第 号	02



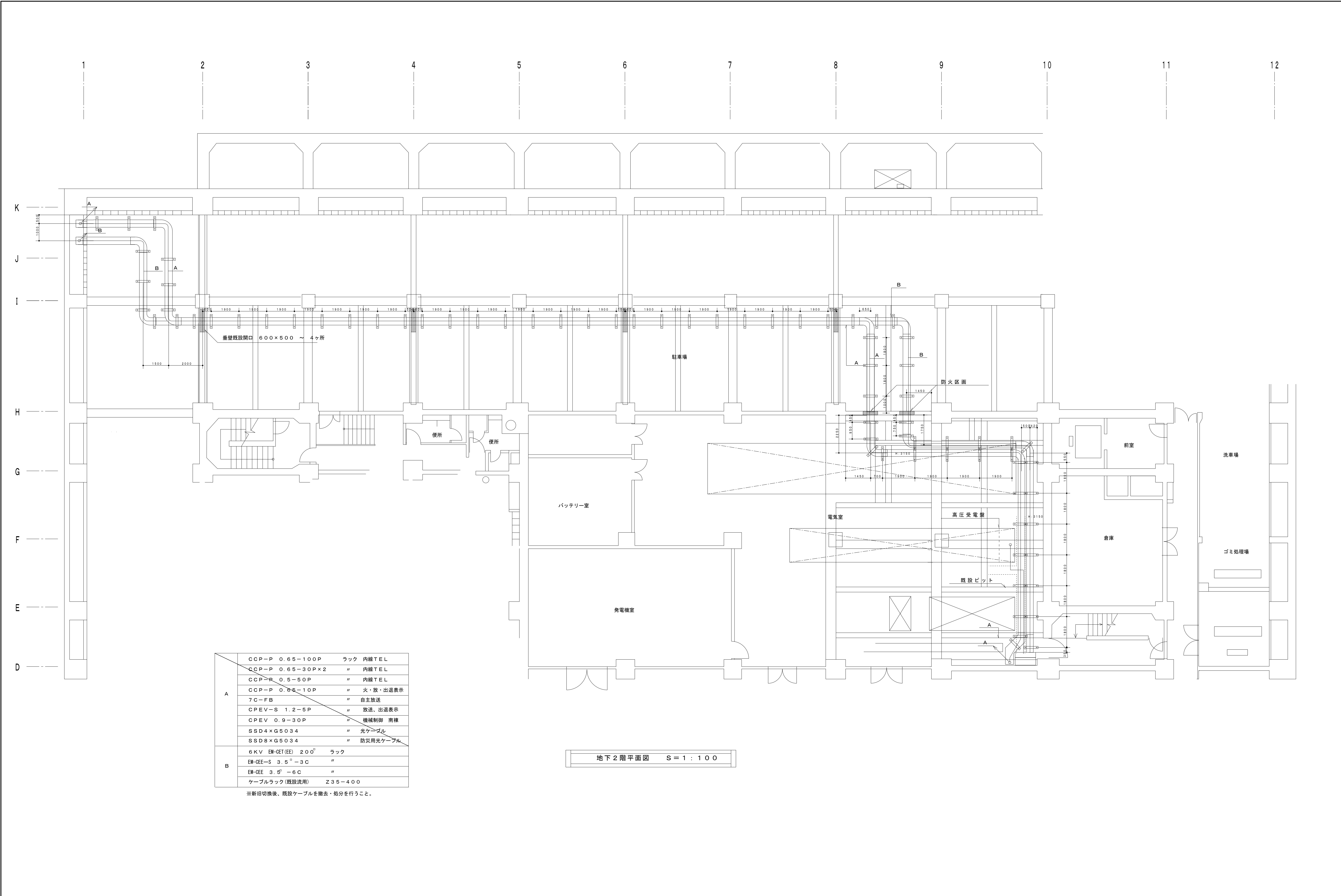
A	CCP-P 0.65-100P	ラック	内線TEL
	CCP-P 0.65-30P×2	"	内線TEL
	CCP-P 0.5-50P	"	内線TEL
	CCP-P 0.9-10P	"	火・放・出退表示
	7C-FB	"	自主放送
	CPEV-S 1.2-5P	"	放送、出退表示
	CPEV 0.9-30P	"	機械制御 南棟
	SSD4×G5034	"	光ケーブル
B	SSD8×G5034	"	防災用光ケーブル
	6KV EM-GET(EE) 200 ⁰	ラック	
	EM-GEE-S 3.5 ⁰ -3C	"	
	EM-GEE 3.5 ⁰ -6C	"	
ケーブルラック(既設流用) Z35-400			

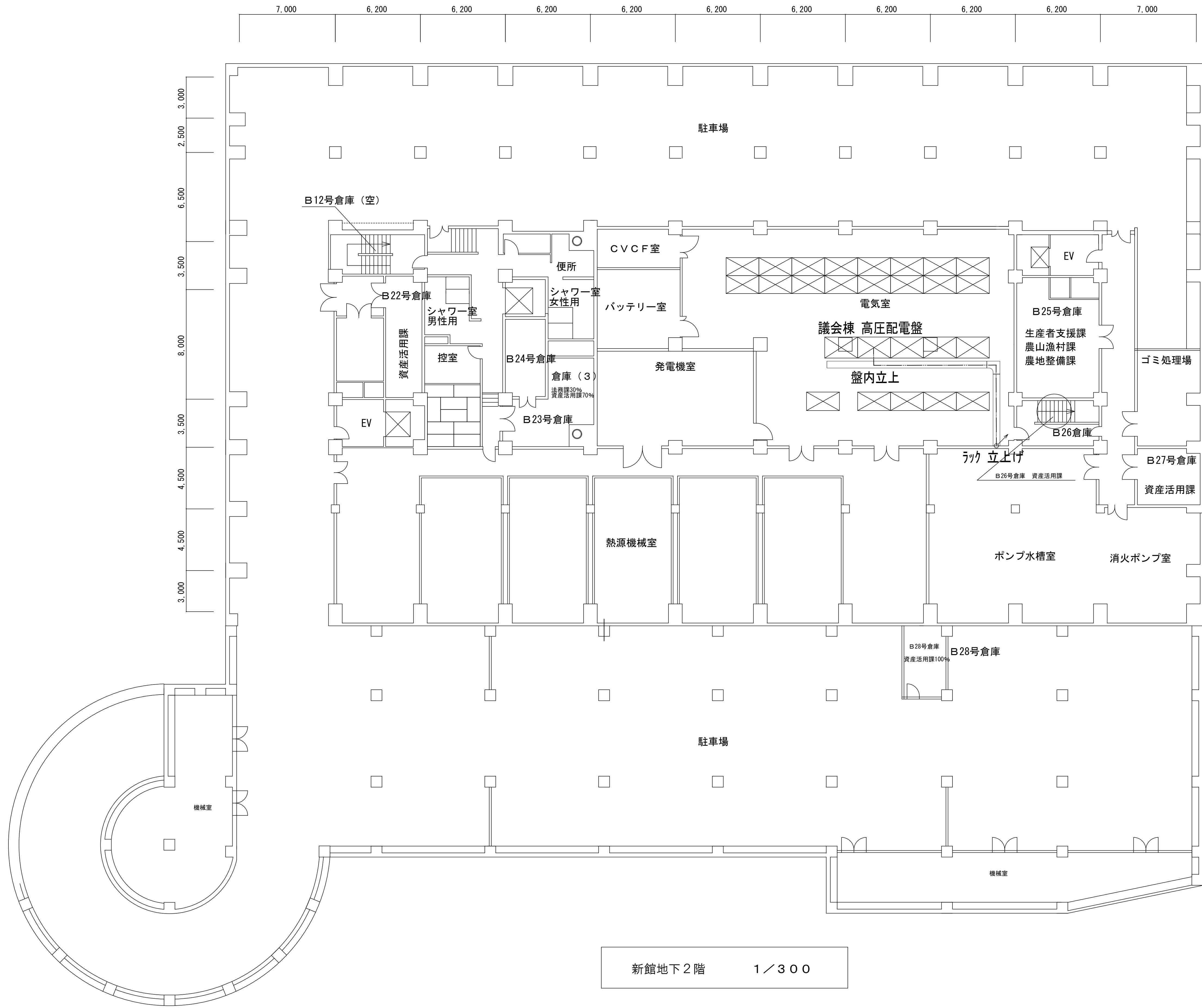
※新旧切替後、既設ケーブルを撤去・処分を行うこと。

地下1階 平面図 S=1:100

CCP-P 0.65-100P	ラック
CCP-P 0.65-30P×2	"
CCP-P 0.5-50P	"
SSD8×G5034	"

CCP-P 0.65-10P	ラック
7C-FB	"
CPEV 0.9-30P	"
CPEV-S 1.2-5P	"



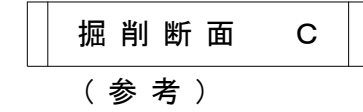


凡 例

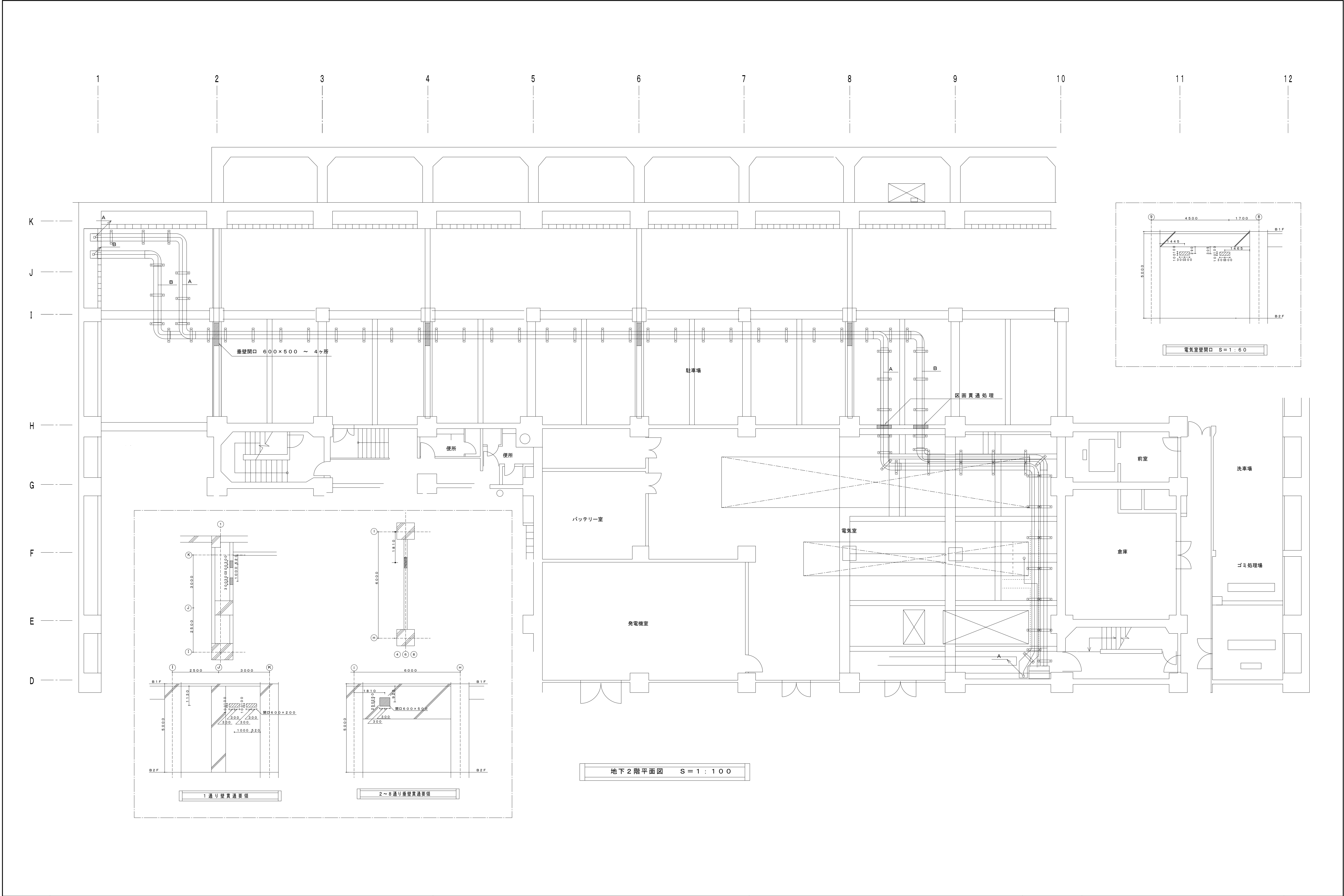
----- 6kV EM-CET (EE) ケーブル 60°

※新旧切換後、既設ケーブルを撤去・処分を行うこと。

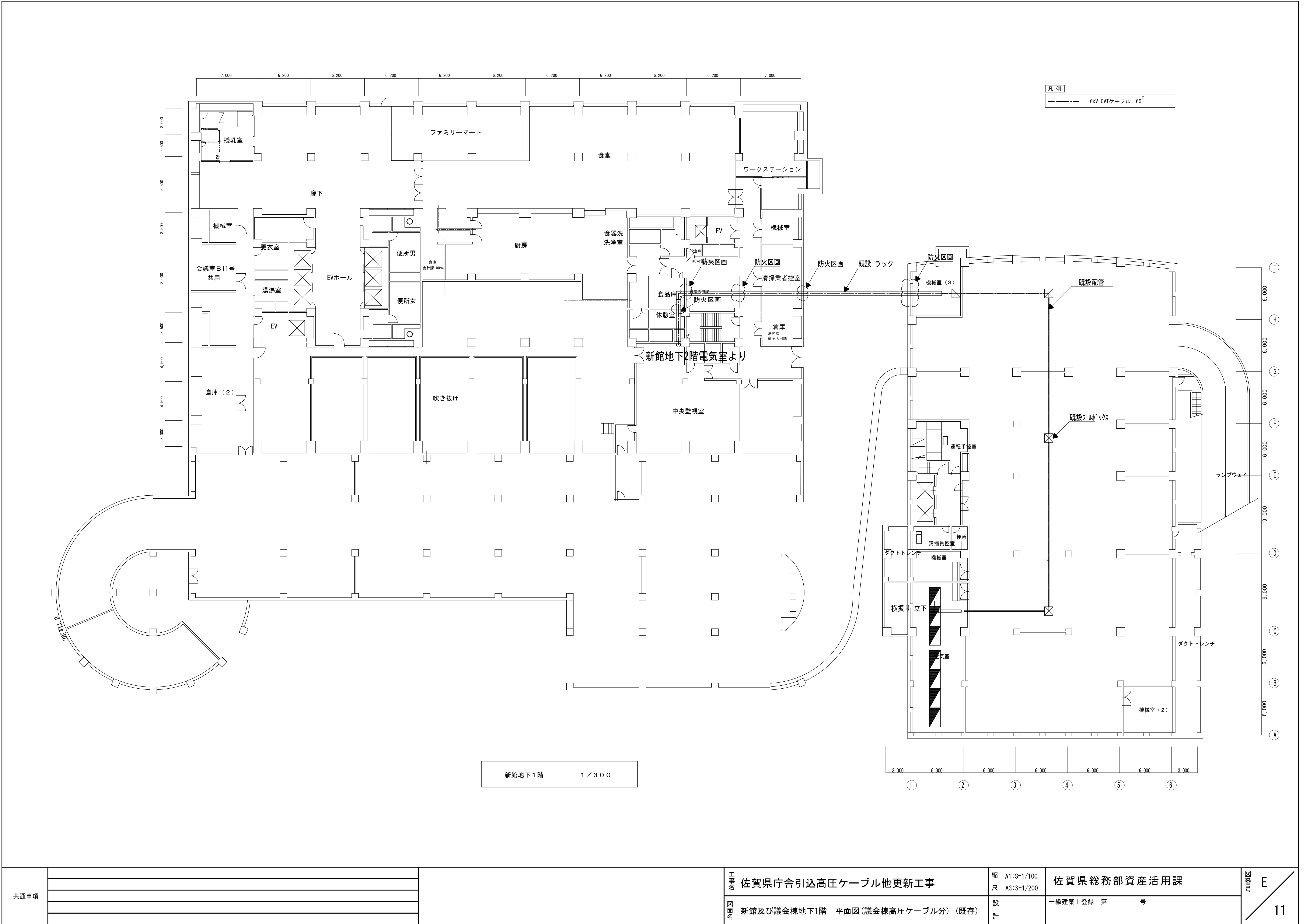
共通事項			工事名	佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200	佐賀県総務部資産活用課	図番号	E
			図面名	新館地下2階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)	設計		一級建築士登録 第 号		07



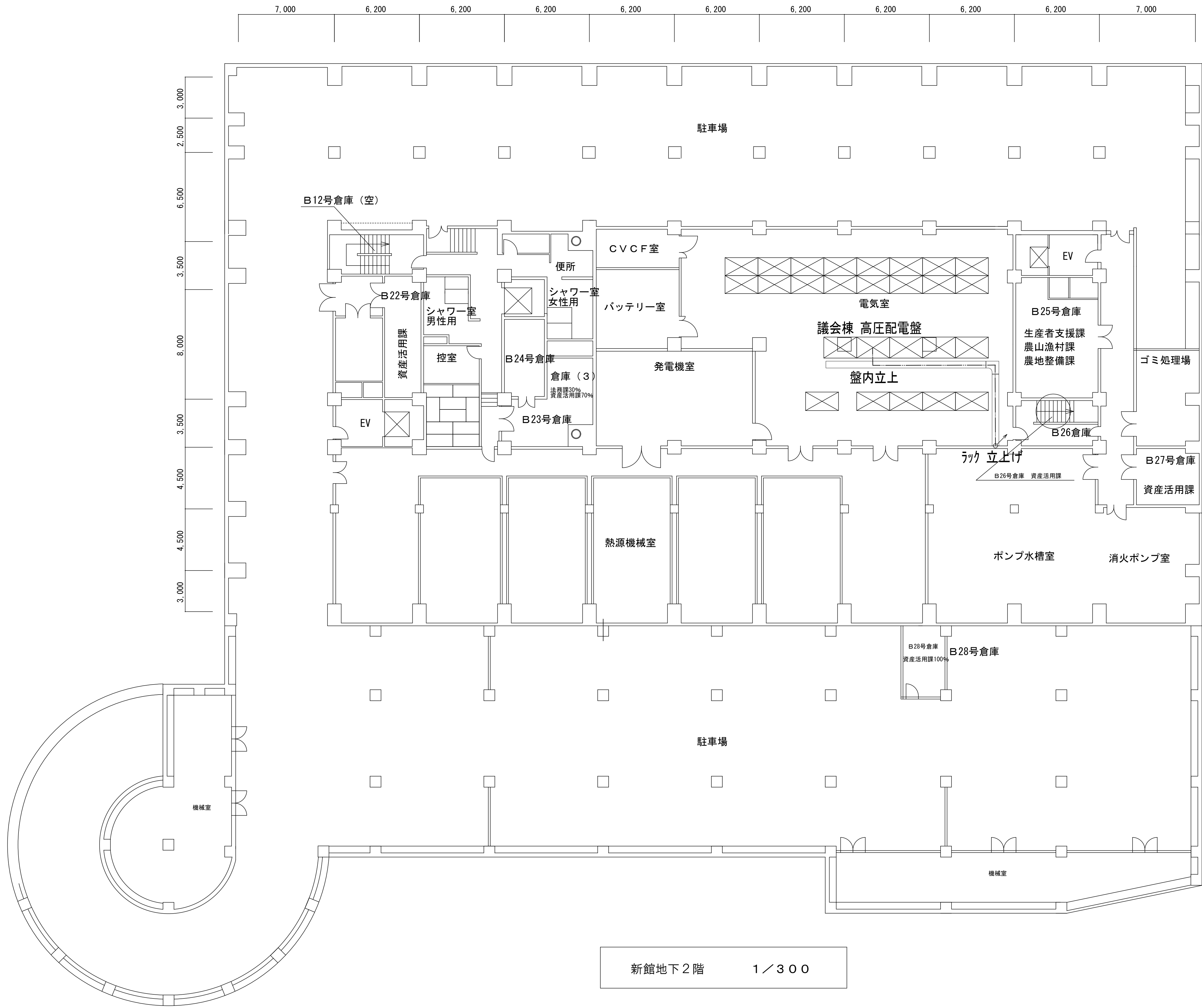
共通事項		工事名	佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事	縮尺	N.S	佐賀県総務部資産活用課	<div>図番号</div> <div>E</div> <div>08</div>



共通事項		工事名 佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事	縮尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200	佐賀県総務部資産活用課	図番号 E
		図面名 新館地下2階 平面図(既存)	設計	一級建築士登録 第 号	10



共通事項		工事名 佐賀県庁舎引込高圧ケーブル他更新工事	縮 尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200	佐賀県総務部資産活用課	図 番 号 E
		図 面 名 新館及び議会棟地下1階 平面図(議会棟高圧ケーブル分)(既存)	設 計	一級建築士登録 第 号	11



凡 例

----- 6kV CVTケーブル 60

新館地下2階 1 / 300